

1：人は独りでは生きられない

人間は未熟で生まれた哺乳類⇒幸せに生きるためには一工夫が必要
「幸せ装置 (=社会)」の創造とメンテナンス
* ちょっと動物の話から…

2：幸せの「4つの縁」：「幸せ装置の中身」

独りでは生きられない人間の工夫=縁 (人間のつながり)
4つの縁=①血縁 ②地縁 ③友縁 ④職縁
* 「4つの縁」のバランスは時代とともに変化する (4つの衝撃)
①民主化 ②都市化 ③高齢化 ④無縁化
* 無縁社会化の波に直面している (地域福祉の現場から)

一寸だけ「中休み」…

3：思えば遠くに来たもんだ

青っ漬を垂らした、あの少年は？
幸せを求めて、日本人は大量に移動した⇒今、ここで生きる
高齢社会の神話⇒「65歳以上=高齢者」って誰が、どんな理由で？
新しい暮らしは「4つの縁」の新しい形から作られる。

4：コミュニティの2つの機能

1969年国民生活審議会答申「コミュニティの復権」の背景
表裏の機能：①相互扶助 ②相互監視
* この二つの機能のバランスが重要
自助—互助—共助—公助の現代的役割
* 核家族でも幸せに、退職後も幸せに…
市民協働とコミュニティ：幸せづくりの土俵 (鎧兜を脱ぐ)
明日のための今ではなく、明日は今の暮らしから…

5：コミュニティのメンテナンス：幸せ装置の転換を図る

江戸時代の教えから：三脱の教え	新「役」聖書と旧厄聖書
定年退職世代の憂	鬱：7つの別れ⇒7つの出会い
①会社 ②役	職 ③仲間 ④お金 ⑤家族 ⑥健康 ⑦情報
新しい町内会・自治	会イメージ：幸せネットワーク保険

おわりに